

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和 6 年 2 月 17 日

事業所名: 重心児デイサービスエンゼル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一人一人、ベット、マットが確保されている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			一人に対し、一人のスタッフが対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				全室バリアフリーとなっているが、浴室、洗面、トイレの配慮を工夫していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			困難点や不安点など、その都度スタッフ間で情報を共有しながら、業務内容の変更や振り返り、目標に相違しているか話し合う事ができている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				今後、実施していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		現在、行っていないので今後検討していく。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			すぐに対応が必要な事は、研修を行っている。資質向上としては、個人で取り組むようにしている。ミーティングを利用している。	今後も研修の機会を増やしていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月に1回職員ミーティングを行い計画の見直しを行っている。	日々の振り返りもできるように時間を作っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育係を中心に年間予定を作成して計画に沿った活動が出来ている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			頻回にかぶる事がない様に計画立案している。	今後もさらに色々な活動ができるよう工夫していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			同年代や他利用児との活動が行える場面の時は集団活動を取り入れている。	それぞれのケアがあるため、体調、ケア内容に合わせて活動が行えるよう工夫していく。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼でその日の支援の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	振り返りの時間は設けていないが気づいた時点で改善するようにしている。	職員全員へ情報共有できるように工夫していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画に合わせた記録を行い計画、アセスメントしやすいよう工夫している。	今後も記録の仕方について再検討していきたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			それぞれの必要頻度に応じてモニタリングを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議には児発管が参加している。	担当スタッフが参加出来るよう工夫していく。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校行事や時間割りを確認し調整を行っている。保護者と連絡体制をとっている。送迎時に学校との情報共有を行っている。	今後も、担当者会議や送迎時に情報共有していく
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医、訪問看護師と情報共有している。	今後も丁寧なケアを心掛けたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			今後、利用予定の幼稚園、保育園と担当者会議をして情報共有している。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今後、交流の機会を作っていきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後、地域の事業所連絡会へ参加予定。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰りのお迎えの際、日中の様子を伝えている。今後の改善についても、共通理解できるよう努めている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○					
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			書面にて提示している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から相談があった場合、他のスタッフの意見も取り入れお伝えしている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後、保護者会を実施予定。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理者が対応し事実確認し、これからの質向上のため努めている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			おたより「よーりよーり」の発行を行っている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			写真やお名前について、注意している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			写真を入れた連絡ノートにより情報共有できるように工夫している。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	開所時、地域住民が来られた際、事業所の案内特徴を説明した。内覧会のときに地域の参加を行った。	今後、機会を作って行きたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			定期的に見直しを行っていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的ではないが、スタッフ間で避難方法等、周知はできている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				実施出来ている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			計画立案、日々の記録が出来ており、見直しが出来よう工夫している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対象者はいないが、フェイスシートでアレルギーの有無は確認出来ている。保護者と情報共有を行っている。	対象者が幼少だと不明瞭なことが多いが、その都度、保護者に確認している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ミーティングや、その都度話し合っ共有出来ている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)